

## アジア協会アジア友の会とは

アジア協会アジア友の会は、生命にとって最も大切な水＝飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として1979年に活動がスタートした国際民間協力団体(NGO - Non Governmental Organization)です。

アジアの人々との『理解と協力と連帯』を目指して、アジア18ヶ国70地域に現地団体とのネットワークを持ち、現地の人々の自主的な活動の支援を通して飲料水(井戸)供給、植林、教育、生活向上、などの種々の自立開発協力、国際交流活動(ワークキャンプやスタディツアー等)を行っています。

公益社団法人アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階

TEL 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581

メールアドレス: asia@jafs.or.jp ホームページ: <https://jafs.or.jp>

## JAFS 関東

アジア協会アジア友の会の活動を支援する、関東地区の地域活動グループです。だれでも気軽に参加できる国際協力活動を目指して、チャリティウォークやチャリティコンサート、国内ワークキャンプなど、参加型の活動に取り組んでいます。

「何かボランティアをしたいけど海外まで行けない…」そんな思いの方、大歓迎! ぜひ一緒に、楽しく国際協力してみませんか!!

LINEに最新情報が届く



イベント情報・活動予定などをお知らせします

<https://kanto.jafs.or.jp>  
メール: jafskanto@gmail.com

JAFS関東 検索

## 瀬田敦子オンラインサロン ♪Harmony♪



瀬田敦子さんが、ポーランドの自宅からお届けするオンラインピアノ演奏会。毎月300円の会費で、2回/月のピアノ演奏と曲に纏わる楽しいトークを、LINEやメール、Facebookで配信。Zoom交流会も開催しています。

収益は、アジアの貧しい子供たちの教育支援に充てられます。

お申込みは  
こちら⇒ ⇒



～ウクライナの平和のために奏でる  
ショパンの名曲～

## CHARITY CONCERT

JAFS 瀬田敦子 ピアノチャリティコンサート



2023年11月18日(土)

会場 久我山教会

主催 公益社団法人アジア協会アジア友の会 (JAFS)  
JAFS 関東活動委員会

## ♪♪♪ プログラム ♪♪♪

### 第一部 ポーランドとウクライナ

- ・演奏 ショパン作曲「革命のエチュード」
- ・トーク&スクリーン ポーランドの美しい四季
- ・演奏 ショパン作曲「ノクターン作品 9-No.1」  
「小犬のワルツ」「幻想即興曲」
- ・トーク&スクリーン ウクライナの街とオーケストラ
- ・動画 「ウクライナの少女の歌」  
「リビウ交響楽団との共演 ベートーヴェン作曲 皇帝より」  
「テルノーピリ交響楽団との共演 ショパン作曲 ピアノ協奏曲より」
- ・演奏 ショパン作曲 ピアノ協奏曲第1番 第1楽章より



### 第二部 瀬田敦子ソロ

- ・タンゴ 「ラ・クンパルシータ」「エル・チョコクロ」
- ・ヒナステラ作曲 「アルゼンチンダンス」
- ・平井康三郎作曲 「幻想曲さくらさくら」
- ・安達元彦作曲 「JONKARA」



茶話会 (コンサート終了後 B1Fにて)



ロシアの侵攻で破壊されたスームィ州の病院



被災病院に届けられた医療器材

♪♪♪  
今回のコンサートで集まった寄付金は、ロシアの侵攻により甚大な被害を受けたウクライナのスームィ州を中心とした地域での医療支援活動と、日本に避難してこられたウクライナの方々への支援金として、使わせて頂きます。  
♪♪♪

### 瀬田敦子プロフィール

公式ホームページ : [atsuko-pianist.com](http://atsuko-pianist.com)

大阪府池田市出身、ポーランド在住。ポーランド・シュタブノズルイ市名誉市民。タイ王国パヤップ大学名誉教授。日本ヒナステラ協会名誉会長。チェンマイヒナステラ国際音楽祭芸術監督。

1996年イタリアで開催されたマスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで優勝。指揮者リチャード・シューマッハーに才能を見いだされ、ヨーロッパ各地でリサイタルを開催。毎年ポーランドのオーケストラからソリストとして招聘されるなど、活躍の場を広げた。



特筆すべきは、アルゼンチンの作曲家ヒナステラの作品演奏で、2003年に大阪ザ・フェニックスホール・エヴォリューションシリーズに採用されたオールヒナステラプログラムリサイタルは大変好評を博し、音楽クリティッククラブ奨励賞を受賞。2004年にはイタリアで開催された国際音楽コンクールIBLA GRAND PRIZEでもオールヒナステラプログラムリサイタルを披露し、ヒナステラ特別賞を受賞。

2010年から7年間タイ王国に住み、パヤップ大学音楽部客員教授として学生の指導に尽力すると共に日泰文化交流にも貢献した。2016年チェンマイヒナステラ国際音楽祭を立ち上げ、今も芸術監督として活躍している。

一方ポーランドでは、ショパンの作品演奏においてその独特の演奏スタイルが高く評価され、2017年名誉市民の称号を授与された。2018年パヤップ大学を定年退官後ポーランドへ移住。近年はヨーロッパ各地の音楽祭に招かれ、ショパンヒナステラプログラムを披露し好評を博している。又、各地の国際音楽コンクールの審査員としても活躍している。日本での社会的活動として、JAFS 瀬田敦子チャリティーコンサートを20年以上続けている。

### ウクライナへの想い



私はウクライナのオーケストラと何度も共演したことがあり、親しい友達がいっぱい居ます。まさか今の時代に身近でこんな惨たらしい戦争が起こるなんて今でも信じられません！人の命、そして素晴らしい自然や文化、特に芸術に秀でた国民性を踏みにじる野蛮な行為に本当に腹が立ち、悲しくて落ち込む日々が続いています。

私が今住んでいるポーランドは避難民を率先して受け入れており、多くの子供たちが家や家族を失って逃げて来ています。どんなに親身になっても彼らの苦しみを拭い去ることは出来ませんが、せめて幼い命を守るために支援の輪を広げたいと願っています。遠い国日本からもウクライナを思う暖かい気持ち溢れている事を、子供たちに伝えたいと思っています。by Atsuko Seta